

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 6月23日更新

事務事業名	総合戦略策定及び進行管理事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	政策部	課長名	工藤 一伸
	施策	25	行政改革の推進			所属課	政策課	担当者名	杉村 輝彦
	施策の柱	84	計画的な施策・事業の推進			所属班	政策班	(内線)	1231
予算科目	会計一般	款2	項1	目25	事業連番11657	根拠法令	まち・ひと・しごと創生法、長期ビジョン、総合戦略 熊本県人口ビジョン		成果優先度評価結果 : ③ コスト削減優先度評価結果 : ①
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 27 年度) ~ <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	国家的な人口減少問題に加え、地方から東京圏への人口流出により、地方経済が一層縮小していくことが懸念され、国は「人口減少問題の克服」と「成長力の確保」を目指し、地方創生の深化を図ることとしている。本市においても、平成27年10月に「合志市人口ビジョン」と「合志市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、国とともに基本目標の達成に向けた事業の推進を目指す。 具体的には、2060年までの長期的な「合志市人口ビジョン」を推計し人口の将来像を展望するとともに、その実現に向けて、本市における「しごと創出」「新しい人の流れ創出」「結婚・出産・子育ての希望実現」「まちの賑わい創出」などの各取組を示す「合志市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、公表する。 この総合戦略に基づく事業については、既に先行型として開始されているものも含めて、重要業績評価指標(KPI)という成果指標を設定して実施し、産学官金労言(産業、学術、行政、金融、労働、言論等)の各機関による有識者会議等において、検証及び評価を行ない、PDCAサイクルを確立し目標達成を図る。
【業務の流れ】	①産学官金労言(産業、学術、行政、金融、労働、言論等)の各機関による有識者会議組織、意見聴取、②地方版人口ビジョン及び総合戦略策定支援業務委託(専門コンサルタント業務委託)、有識者会議運営、③合志市総合政策審議会意見聴取、④パブリックコメント、⑤市議会からの意見聴取、⑥合志市人口ビジョン及び合志市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定完了、公表、⑦戦略に基づく事業実施(先行型は策定前から実施)、⑧成果及び重要業績評価指標(KPI)のとりまとめ、⑨検証及び評価会議、⑩改善及び見直しへの反映
【主な予算費目】	人件費、報償費、旅費、委託料 ほか 財源として、「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型) = 国のH26補正予算」、「地方創生加速化交付金 = 国のH27補正予算」及び「新型交付金 = 国のH28当初予算」の充当を予定する。
【意見や要望】	人口ビジョン及び総合戦略の策定に当たっては、有識者会議(産業、学術、行政、金融、労働、教育機関で構成)、市総合政策審議会委員、パブリックコメントに加え、市議会議員から多様な意見をいただいた。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分: 新規
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
①有識者会議組織、意見聴取、②市人口ビジョン及び総合戦略策定支援業務委託、③合志市総合政策審議会からの意見聴取、④パブリックコメント、⑤市議会からの意見聴取、⑥合志市人口ビジョン及び合志市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定完了、公表、⑦戦略に基づく事業実施(先行型は策定前から実施)	①戦略に基づく事業実施、②成果及び重要業績評価指標(KPI)の把握、③産学官金労言(産業、学術、行政、金融、労働、言論等)の各機関による有識者会議による検証及び評価、④改善及び見直しへの反映
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 市人口ビジョン及び総合戦略数	初年度は、市人口ビジョン及び総合戦略の策定に経費を要するが、2年目以降は、検証及び評価作業が中心となるため
→ イ: 有識者会議回数	回
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市人口ビジョン及び総合戦略	(単位) ア: 戦略に位置付けた施策数 施策 → イ: 検証及び評価された事業数 事業
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 策定される。PDCAサイクルにより改善、見直しできる。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
	(単位) ア: 検証により継続、改善及び見直した事業の割合 % → イ:
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込	
① 活動指標	ア	回			4	4	4	4	4	4	
② 対象指標	ア	施策			10	10	10	10	10	10	
	イ	事業			5	0	6	7	8	8	
③ 成果指標	ア	%			0	0	0	0	0	0	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円				9,391	986	950	950	950
		(A) 事業費計	千円			0	9,391	986	950	950	950
		(A)のうち指定経費	千円			0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人			5	0	5	5	5	5
延べ業務時間	時間			1,000	0	500	500	500	500		
(B) 人件費計	千円			3,984	0	1,992	1,992	1,992	1,992		
トータルコスト(A)+(B)	千円			3,984	9,391	2,978	2,942	2,942	2,942		

事務事業名	総合戦略策定及び進行管理事業	所属部	政策部	所属課	政策課
-------	----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 市人口ビジョン及び総合戦略は、平成27年10月に策定を完了し、公表する見込みである。
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 有識者会議により、全ての事業について検証し、継続や改善等を評価する予定としており、目標達成の見込みはある。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 年度によって取り組む事業に増減は生じるが、継続、改善及び見直しにつながる割合は向上の余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 市政全般に係る総合的な「市総合計画」と混同されるが、総合計画に掲げる施策間を超え、しごと・ひと・まちの創造に特化したものが総合戦略であり、計画と戦略の統合予定はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の経費であり、削減の余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 他事業との兼務で事業に当たっており、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 策定段階では、広く意見を求めるためパブリックコメントを実施し、市総合政策審議会及び市議会からの意見聴取も行ない、受益機会は公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 本戦略による各事業は、産学金労等の各分野からなる有識者会議において重要業績評価指標 (KPI) に基づいて成果を評価、検証する必要がある、事務調整をはじめ、行政の役割は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

本年度は、本市の中長期的な将来人口を展望する「合志市人口ビジョン」及びその実現に向けた「合志市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、公表した。
また、その概要を示すパンフレットを作成 (23,000部) し、全世帯に配布した。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>本戦略に基づく事業は、官民連携、地域連携及び政策連携が求められ、産学金労等による有識者会議の評価及び検証により、事業の改善や戦略の見直しにつなげていく。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						